

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和3年度第1回相模原市文化振興審議会		
事務局 (担当課)	文化振興課 電話042-769-8202 (直通)		
開催日時	令和3年8月23日(月) 14時30分から16時30分まで		
開催場所	相模原市役所 第1別館1階 第2会議室 他		
出席者	委員	10人(別紙のとおり)	
	その他	0人(別紙のとおり)	
	事務局	5人(市民局スポーツ・文化担当部長、文化振興課長、外3人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 自己紹介 3 会長・副会長の選出 4 議 題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第3次さがみはら文化芸術振興プランの進行管理について 5 報 告 <ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症に係る本市の対応状況について (2) 相模原市行財政構造改革プランに係る美術館の位置付けについて 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 相模原市文化活動推進アドバイザーによる活動事例紹介について 7 閉 会 		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 開 会

事務局より会議の開催方法について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点からオンラインでの開催としたこと、並びに通信環境の不具合に伴い、開始時刻を30分遅らせることについて説明を行った。

会議開始後、市民局スポーツ・文化担当部長より挨拶を行い、事務局より篠崎委員、戸塚委員及び中里委員の欠席について報告するとともに、出席委員の人数が定足数に達していることを確認した。

2 自己紹介

3 会長・副会長の選出

相模原市文化振興審議会規則第3条の規定に基づき、互選により、会長に女子美術大学教授の大森氏、副会長に東京造形大学教授の中里氏が選出された。

4 議 題

(1) 第3次さがみはら文化芸術振興プランの進行管理について

事務局から資料1に基づき、進行管理の概要、実施方法、年次報告書の構成及び評価基準（案）について説明し審議を行った。

(井部委員) 進行管理の実施方法等に関する意見ではないが、昨年度に開設された市公式 YouTube「文化芸術のひろば」について、市のホームページの階層が深く見つけづらい場所に掲載されており、なかなかサイトにたどり着けない。QRコードからサイトにアクセスする場合には問題ないが、市のホームページから検索するとどこにあるのかわからないため、可能であれば目立つ場所に表示するよう検討いただきたい。現状としては、文化芸術に興味を持っている方が同サイトにアクセスしていると考えられるが、興味がない方でも目立つ場所にバナーを掲載することでアクセスしてもらえる可能性が出てくるため、工夫いただきたい。

(三本委員) そもそも、市のホームページは何か特別な理由が無ければ見ることがないと思われるため、何か別のやり方で周知することも検討していく必要がある。新聞を取らない世代も多く、若者の中にはテレビを見ない方もいる。ネット社会が進展し必要な情報はネット検索で得ている状況を踏まえながら、効果的な情報発信について検討いただきたい。

(樋口委員) 同感である。私自身も最近市のホームページを見た目的は、新型コロナ

ウイルスのワクチン接種の手続きについて調べることはしたが、そのページから文化芸術のページにアクセスするのは容易ではなかった。そのため、アクセスしたいページがすぐに見られるように、お気に入りに設定している。私案ではあるが、市公式 YouTube に出演している方の中には、自身の所属団体や個人でチャンネルを持っており、そちらでも配信しているケースもあることから、ハッシュタグや URL を両方のチャンネルに記載し、どちらのチャンネルからもアクセスできるようにすれば、再生回数も増えるのではないかと考える。

(大森会長) 各委員の意見のとおり、行政のホームページは情報量が多いこともあり検索しづらい側面がある。そのため、従前から検討している SNS を活用した発信に注力いただき、拡散の仕方を具体的に検討しながら精査していけると良いと考える。

(大森会長) 進行管理の実施方法として、基本目標ごとに設定された成果指標の数値に基づき、評価を行う案が示されているが、昨今の社会情勢を踏まえると平時を想定し設定した数値の達成は難しいことから、数値だけでなく事業の中身の精査についても評価していけると良い。コロナ禍で社会構造も日々変化する中で、文化芸術事業についても大きく影響を受けていることを今後作成する年次報告書の冒頭、あるいは特記事項として掲載することを検討いただきたい。様々な課題が浮き彫りになるかと思われるが、文化芸術分野の垣根を超えて横断的な取組により解決を図ることも重要なため、前向きに捉えながら評価を進めていけると良い。

5 報 告

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る本市の対応状況について

事務局から資料 2 に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に係る市設置施設や市主催事業等の扱い、中止・延期した主なイベント及び文化芸術活動への支援事業について報告を行った。

(大森会長) コロナ禍により多くの事業が中止や延期になっているが、新たな補助事業が設立され、これまでとは別の形で団体支援が出来てきていることは良いことである。多くの応募をいただいているようだが、採択数は予算の範囲内であるため、動画制作等に慣れている方々の事業が採択されやすいことが想像される。これにより、不採択となる団体も出てくることから、審査の結果をネガティブに捉えないように団体に対するきめ細かいサポートを心がけていただきたい。これまでと同じように申請したものの採択されなかったことで、団体の活動に影響が出ないよう、これまでやられてきた活動内容を再評価することも検討いただきたい。

(三本委員) YouTube 等を活用した動画は若い世代が多く視聴しているが、映像デザインについて研究されている杉森委員に専門的な視点から効果的な発信方法につ

いてご意見を伺いたい。また、大森委員も映像を介した作品を制作されていていらっしゃるの、参考にお話を伺いたい。

(杉森委員) 映像を制作して YouTube にアップすることは以前に比べるとハードルが低くなり、制作作品を気軽に発信できる時代になってきている。そうした時代の変化は良いことだが、一方で、YouTube 上には一生かけても見切れないほどの映像コンテンツがあり、先程の情報発信の話にもあったが、どこにアップしてどんなバナーを付けるかが重要で、課題でもある。また、アップした動画を視聴しているのは制作団体の関係者であることも多く、広く一般の方に見られていない実態もある。例えば、視聴回数で 500 回を超えることは難しく、ただ SNS にアップしただけではなかなか視聴回数が伸びてこない。そのため、多くの方にアップした動画を見ていただくためには、様々な種類の動画掲載と配信に伴う告知を両輪で実施することが大切である。

(大森会長) 動画配信については、比較的色々な活用方法が広がりつつあると感じている。文化団体の方々に置かれては、少しずつでいいので楽しみつつ、実験的なこともやりながら自分の表現を発信していただければ良いのではないかと考える。一方で、SNS の活用が広がる中でどのように質を担保していくかが重要であり、制作動画の質を確保するため撮影場所や機材を利用しやすくするなど、市の方でも支援を検討いただけると良い。例えば、市内に限らず他自治体と広域的に連携して、近隣自治体の施設の活用などを検討いただけると良い。

(友田委員) 相模原市はシティセールスの取組として観光大使を任命しているため、そうした方々の SNS を通じて文化芸術の情報を発信していただけると多くの方に伝わりやすいのではないかと考える。

(杉森委員) 同感である。広報を考えた際に誰が発信するかは重要な視点である。市と関わりのある著名な方をリストアップして、その方々から情報を発信していただけると市公式 YouTube のチャンネル登録者数が増えていくと思う。

(友田委員) 先日開催された東京オリンピックに出場しメダルを獲得された体操の村上茉愛選手やタレントの富永愛さんも市にゆかりのある著名人であるため、そうした方々にご協力いただけると効果的と考える。

(2) 相模原市行財政構造改革プランに係る美術館の位置付けについて

事務局から資料 3 に基づき、令和 3 年 4 月に策定した相模原市行財政構造改革プランの概要と同プランにおける美術館整備事業の位置付けについて報告を行った。

(大森会長) 財政状況が厳しくなっている状況を鑑みると致し方ないところではあるが、ネガティブに捉えられないように違った施策の展開等をご検討いただきたい。

6 その他

(1) 相模原市文化活動推進アドバイザーによる活動事例紹介について

相模原市文化活動推進アドバイザーである相模原市民謡協会理事長、相模原市吟剣詩舞連盟会長及び相模原市エビバディ☆パフォーマンス連盟副会長から、団体概要、新型コロナウイルス感染症に係る活動への影響、団体会員の獲得に関する取組並びに市の文化芸術振興に向けて必要と感ずることについて説明がされた。

7 閉 会

以 上

令和3年度第1回相模原市文化振興審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	いべ やよい 井部 弥生	公益財団法人相模原市民文化財団 総務課長		出席
2	おおもり さとる 大森 悟	女子美術大学芸術学部美術学科教授	会長	出席
3	かねこ ともえ 金子 朋沐枝	相模原市文化協会副会長		出席
4	かみじょう ようこ 上 條 陽子	相模原芸術家協会会長		出席
5	きぐち えいじ 木口 詠辞	公募委員		出席
6	しのぎき しげお 篠崎 重雄	相模原市民俗芸能保存協会副会長		欠席
7	すぎもり じゅんこ 杉森 順子	桜美林大学芸術文化学群教授		出席
8	すずき まさひこ 鈴木 正彦	光と緑の美術館館長		出席
9	とつか あつお 戸塚 厚生	相模原市文化財研究協議会会長		欠席
10	ともだ ゆきお 友田 幸男	相模原市民音楽団体協会理事長		出席
11	なかざと かずひと 中里 和人	東京造形大学造形学部デザイン学科教授	副会長	欠席
12	ひぐち みきこ 樋口 美佐子	相模原音楽家連盟事務局長		出席
13	みつもと ひろこ 三本 博子	公募委員		出席